



JTUC-aomori

No.369 2020年10月10日

# れんごろう 青森

発行 日本労働組合総連合会  
青森県連合会(連合青森)  
発行人 山内裕幸 編集人 堤 史子  
青森市本町3丁目3の11  
青森県労働福祉会館内  
TEL (017)735-0551  
FAX (017)735-0553  
URL <http://aomori.jtuc-rengo.jp/>  
月1回発行 1部10円  
(組合員の購読料は会費の中に含む)

## 青森県最低賃金が3円アップで793円に!

コロナ禍において全国トップの引き上げ額・率を獲得。発効日は10月3日



8月7日開催の青森地方最低賃金審議会において、「今年度の青森県最低賃金(地域別最賃)を1時間790円から3円引き上げ793円とする」との答申がされた。その後、官報公示に対し全労連から異議申し立てがあったが、答申内容はそのまま結審した。

発効日は10月3日。この最低賃金はパート・アルバイト等の非正規労働者を含む青森県の全ての労働者に適用される。また派遣労働者には派遣元ではなく、派遣先の地域別最低賃金か、特定業種によっては産業別最低賃金が適用されることとなる。

連合青森は、青森県の最低賃金が改定された翌

週の10月7日(水)、青森市の「さくら野百貨店」前にて使用者に対し引上げの遵守、また労働者にも1時間793円以下で働くことがないように周知する街頭行動を行った。

また街頭行動当日の10月7日が国際労働機関(ILO)が提唱する「ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)世界行動デー」であることをうけ、すべての人が生きることの価値を見いだせるような人間らしい仕事が保障される安定的かつ持続的な社会基盤構築の必要性を訴えた。

※全国地域別最低賃金額は4頁へ記載。

青森県の法定地域別最低賃金は

深夜 (午後10時~午前5時)

2020年10月3日~

793円

1時間あたり

992円

25%割増

下回ったら、法律違反!!

※最低賃金の金額未満で働かせた場合は、使用者には従業員1人あたり50万円の罰金が科せられます。

# 活動の中で漠然と認識されていた課題等の解決に向けて

## 青年委員会役員研修会

連合青森青年委員会（宮田慶輝委員長）主催による「役員研修会」が9月26日（土）、青森市で開催され、青年委員会役員7名が参加した。

本研修会は新型コロナウイルスの影響により例年開催しているユースラリーを中止と判断したことから、実施可能な活動とし開催したものである。

研修会では「青年活動活性化に向けた検討」を実施し、これまでの活動の中で漠然と認識されていた課題等について、その解決に向けた具体的な対策を検討した。

検討に際し以下の論点整理をし、短時間での効率的な議論とするため事前に意見を集約した上で開催したことで建設的で有意義な議論がなされた。

今回出された結論は今後の幹事会で確認を行った後、連合青森執行委員会や青年定期総会場で提言・報告を行うこととし、来期の活動より実行することとしたい。



### 【青年活動活性化に向けた検討】

#### ■検討の目標

青年活動を活性化するために実行する具体策の決定

#### ■青年活動活性化の定義


活性化＝特定の機能が活発になること

#### ■青年委員会の機能

- ①加盟組織の横断的な連帯感醸成
- ②活動を通じた役員のスキルアップ

#### ■議論のポイント

- ①「加盟組織の横断的な連帯感醸成」に向けた具体策を導く・・・
  - ・視点1 組織のあるべき姿の共有
  - ・視点2 組織の不足点の共有
  - ・視点3 実体験の活動への反映
- ②「活動を通じた役員のスキルアップ」に向けた具体策を導く・・・
  - ・視点1 2つのスキル（必要なスキル／習得を実感したスキル）の共有
  - ・視点2 コアスキルの選定
  - ・視点3 効果的な習得方法
- ③「青年委員会の在り方」を導く・・・
  - ・視点1 組織運営上の実務的な課題解決
  - ・視点2 青年委員会の価値を再デザイン



### 愛のキャンパ 募 集

「連合愛のキャンパ」は、人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」に向け、社会貢献活動として取り組むものであり、NGO・NPO団体等の事業・プログラムへの支援を行っています。皆さまのご協力をお願い致します。

第一次集約 2021年1月末日    最終集約 2021年6月末日

振込先 【金融機関】中央労働金庫 本店営業部    レゾナンス  
【口座番号】(普通)8924434 【口座名義】連合愛のキャンパ

---

#### 助成支援団体募集


**中央助成** 海外や国内で救援・支援活動に取り組んでいるNGO・NPO団体等の具体的事業プログラムとし、構成組織の推薦があるもの。

**地域助成** 1. 連合組合員およびその家族、あるいは退職者が、積極的に運営に参加しているNPOなどの団体が行う事業・プログラム。  
2. 地方連合会が日常的な活動で連携している、NPO等団体が行う事業・プログラム。  
(構成組織が推薦する場合も地方連合会へ申請して下さい。)

◎活動内容

1. 大規模災害などの救援・支援活動	5. 障がいのある人たちの活動
2. 戦争や紛争による難民救済などの活動	6. 教育・文化などの子どもの健全育成活動
3. 人権救済活動	7. 医療や福祉などの活動
4. 地球環境保全活動	8. 地域コミュニティ活動(レクリエーション活動を除く)
	9. 生活困窮者自立支援活動

応募期間：2021年1月～3月末日  
 応募方法：2021年度の申請書にご記入の上、必要書類を添えてご提出ください。中央助成は構成組織の推薦を確認の上、連合本部へ、地域助成は所在地の地方連合会「連合・愛のキャンパ」へ、詳細は連合ホームページの応募要領をご確認下さい。(2021年度申請については12月掲載予定)



**連合・連帯活動局** 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 Tel.03-5295-0513 <https://www.jtuc-rengo.or.jp/activity/kizuna/campa>

## 「善意のマスク」2つの福祉団体へ贈呈

「マスクをつなごう運動」

7月末まで寄付を募り4,674枚届けられた「善意のマスク」を連合青森は9月16日（水）、県労働福祉会館において贈呈式を行い、「青森県児童養護施設連絡協議会（後藤辰也会長）」と「こども食堂ネットワーク会議（みらいねっと弘前鹿内葵代表）」の2団体に手渡した。

後藤会長は「大変にありがたく思う。このような気持ちが寄せられていることを子どもたちに伝え、子供たちが大人になったとき、今と同じような心寄せができるよう育てていく」と語った。また鹿内代表は「生きていくのに精一杯で、マスクを買うこともままならない人も多くいる。このマスクは大事に使わせてもらい、地域から漏れていく人がない様、支えていく」と述べた。



### 加重平均で570,346円(2.16ヶ月)

#### 2020夏季一時金、 前年を額・率とも上回る

連合青森は9月18日に開催された第10回執行委員会で2020夏季一時金・妥結状況（8月31日現在）について報告した。

※対象組合187組合

◆妥結組合93組合（昨年同時期86組合）

◆妥結組合率49.73%（昨年同時期45.50%）

◆妥結額 加重平均570,346円(2.16ヶ月)  
(昨年同時期566,937円(2.14ヶ月))

以上となり、昨年比では加重平均で3,409円、月数では0.02ヶ月上回っている。

#### 2020年10月行動予定

- 10月17日(土)13時20分 はまなす会館  
「青年委員会・女性委員会役員合同セミナー」
- 10月29日(木)13時 八戸パークホテル  
「第11回執行委員会」
- 10月29日(木)14時 八戸パークホテル  
「連合青森第21回地方委員会」

#### 2020年11月行動予定

- 11月5日(木)11時30分 さくら野青森店前  
「連合の日街頭行動」
- 11月6日(金)18時20分 県労働福祉会館  
「東青地協第32回定期総会」

8 働きがいも  
経済成長も



2020  
ディーセント・ワーク  
世界行動デー

#WDDW



